

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		岩瀬温水プール管理運営事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020402000084
		総合計画の施策名					単独/補助	単独	所属課	090501
政策体系	政策名	02	生涯スポーツ活動の振興					課長名	スポーツ振興課	
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興					グループ	スポーツ振興G	
	手段名	02	②快適な施設利用の推進					担当者名		
			財務会計上の位置付け					事業期間		
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	06	02	02	00	温水プール管理事業(岩)			
法令根拠	桜川市岩瀬温水プールの設置及び管理に関する条例					単年度繰返し (平成3年度~)				
						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>所在 桜川市岩瀬2685-14</p> <p>施設概要 一般用プール25m×13m・6コース/水深0.9m~1.1m 幼児用プール/12m×6m/水深0.7m シャワー室・更衣室・救護室</p> <p>【事務事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩瀬温水プールを管理する事業である。年間を通じて市民に安全かつ快適に利用してもらうよう施設の保守管理及び貸出、監視業務を行っている。 開放時間は、午前10時から午後9時(冬季10月1日~5月31日)期間は午後8時30分まで ・管理運営には、一般・会計年度任用職員14名がシフト制において従事し運営管理・監視をしている。 	施設の維持管理、委託契約、会計年度任用職員(2交代制)の確保、管理全般、使用料徴収、ボイラー管理、監視業務、館内清掃等の衛生管理業務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
施設の維持管理、委託契約、会計年度任用職員(2交代制)の確保、管理全般、使用料徴収、ボイラー管理、監視業務、館内清掃等の衛生管理業務	保守点検回数(委託含む)	回	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
	利用可能日数	日	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市民	桜川市人口	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
安全に温水プールを利用して水泳を楽しむことができる。	利用者数	人	17,103.00	15,100.00	16,000.00	17,000.00	18,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	4,100	4,156	4,200		
		その他	千円	160	141	150		
		一般財源	千円	30,559	42,378	54,860		
		事業費計(A)	千円	34,819	46,675	59,210		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)			07年度事業費 予算(千円)			
	01 報酬	23,368		01 報酬	26,329		
	03 職員手当等	8,433		03 職員手当等	10,872		
	08 旅費	493		07 報償費	16		
	10 需用費	11,232		08 旅費	550		
	11 役務費	88		10 需用費	14,865		
	12 委託料	2,928		11 役務費	100		
	17 備品購入費	132		12 委託料	3,548		
	18 負担金補助及び交付金	1		14 工事請負費	2,860		
			合計	46,675	18 負担金補助及び交付金	70	合計

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	危険箇所発見時の早期修繕を実施し今後の施設運営について協議していく	危険箇所発見時の早期修繕を実施し今後の施設運営について協議していく	危険箇所発見時の早期修繕を実施し今後の施設運営について協議していく

事務事業名	岩瀬温水プール管理運営事業	事務事業No.	20402000084	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 生涯スポーツに対する関心が高まる中、オールシーズン利用でき子供からお年寄りまで、誰もが気軽に健康の維持増進やコミュニケーションを図ることができる施設として、平成3年に総合運動公園内に建設された。平成3年11月に岩瀬温水プールが開設されたことに伴い、施設の管理運営が開始された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 施設の経年劣化等により使用者は減少傾向にある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民が支障なく利用できる、温水プールを利用して水泳を楽しむことができるようになることによって、市民の「スポーツを安心して行える環境の確保」「スポーツを楽しむ機会の増加」「健康の維持増加を図る」という結果に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民にスポーツ実践の機会と環境を提供することにより、市民の体力づくりと健康増進につながる。また、市内に施設があることで高齢者・障害者・子供にとっても利便性が高く公共関与は妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設の老朽化により修繕必要箇所が年々増加している。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 施設の管理を廃止した場合、市民が水泳を楽しんだり水泳を通じての健康の維持増進、コミュニケーションを図る機会が失われるため影響はあるが、実際にサンバルを利用している市民の割合は年々減少している。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 指定管理者の導入を図る。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 平成25年度において、使用料の見直しを図った。結果、現行の使用料を継続することとなった。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・プールを開設する上で、設置管理者における国の「指針」に沿った管理体制が必要である。 ・今後は、指定されている有資格者の採用や取得が必要となる。 ・施設の老朽化により修繕必要箇所が増加している。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	○				低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持	○																				
低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 経年劣化により施設の修繕必要箇所の増加が著しい。効果的な修繕計画を利用者の安全を最優先に進めていく。																					
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	